

## 東北地方整備局との意見交換会が 開催されました

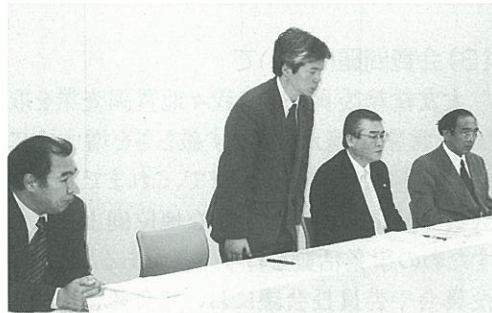
理事長:宮川和志 総務委員長:大友秀夫

平成13年12月12日午後、国土交通省東北地方整備局と東北地質調査業協会の初めての意見交換会がハーネル仙台を会場にして1時間半にわたり開催されました。出席者は下記の方々です。

### 国土交通省東北地方整備局

大内忠臣企画部長、  
金内剛技術調整管理官、  
鈴木弘夫建設産業調整官、  
佐々木透特定道路工事対策官、  
宮崎伸一郎技術管理課課長補佐

以上5名



国土交通省東北地方整備局側

### 東北地質調査業協会

宮川和志理事長、三塚罔彦副理事長、  
奥山紘一副理事長、吉川謙造理事、  
大友秀夫総務委員長、  
橋本良忠厚生委員長、  
武部幸勅技術委員長、  
土生田政之研修委員長、  
中嶋幸房広報委員長、  
西川広貞積算委員長、  
松淵稔美事務局長

以上11名

会議は宮崎技術管理課長補佐が司会を務められ、大内企画部長と宮川理事長の挨拶の後、双方の参加者の紹介があり、意見交換会がスタートしました。

当協会では今回の意見交換会に先立ち、東北地方整備局に対する質問事項や要望事項、提案事項などを資料としてまとめ、約1ヶ



東北地質調査業協会側

月ほど前に東北地方整備局に提出しておりました。内容は、省庁再編に伴う東北地方整備局の組織と役割についての確認(本省から地方整備局への権限移譲等)、入札・契約制度の動向とこれへの対応に関連した質問や要望(①IT化対応、②登録専門業者の活用推進、③プロポーザル制度の動向、④ISO取得業者の評価)、公共事業の将来についての質問、防災事業や倫理問題に対する当協会の取り組みの紹介と確認、情報公開や民間との技術交流に関する要望、そして、意見交換会の継続開催に関する要望など10数項目におよぶものです。これらの内容について中嶋広報委員長が説明を行いました。これに対して東北地方整備局側の関連資料の説明が宮崎課長補佐からなされ、続いて金内技術調整管理官から整備局としての回答と説明がありました。その概要は、業界紙に大きく取り上げられましたので、既にご承知の会員も多いかと思えます。



意見交換会の様子

今回が最初の意見交換会となりましたが、何と云っても、東北地質調査業協会の存在を東北地方整備局に認識してもらい、率直な議論ができたことが最大の成果といえます。その中で東北地方整備局が東北管内の将来の公共事業に対して、予想以上に大変厳しい見方をしていることが強く印象として残りました。「技術力があり財務基盤がしっかりとした会社が選別される時代になる」という認識が地方整備局から示され、厳しい社会環

境における協会活動の重大さを改めて思い知る機会になったとも云えます。

東北地方整備局との意見交換会が契機となり、このような発注者との意見交換の場が他の自治体などにも広がり、当協会および会員の存在と主張を多くの発注者に認識して頂けるようになって、会員の発展につながることを期待しています。そのためにも当協会と会員にとって真に意味のある意見交換の場として東北地方整備局との意見交換会を継続させ、この業界の発展につなげることが協会の使命の一つであると痛感した場でもありました。

建設工業新聞



建設通信新聞



建設新聞



建設産業新聞

